



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2009-2010

地区方針 「歴史に学び変革と進歩を」
IMテーマ 「縁づくり」

CONTENTS

1. ガバナーメッセージ	1~5
2. RI会長メッセージ	6~7
3. 地区組織図	8
4. 地区委員会組織表	9
5. ガバナー補佐一覧	10
6. クラブ会長・幹事一覧	11
7. 新入会員紹介・計報	12
8. 「ロータリーの友」地区だより	13
9. ハイライトよねやま	14
10. ロータリー文庫通信	15
11. 「友」インターネット速報	16
12. 7月の行事予定	17



RI会長
ジョン・ケニー
(スコットランド)



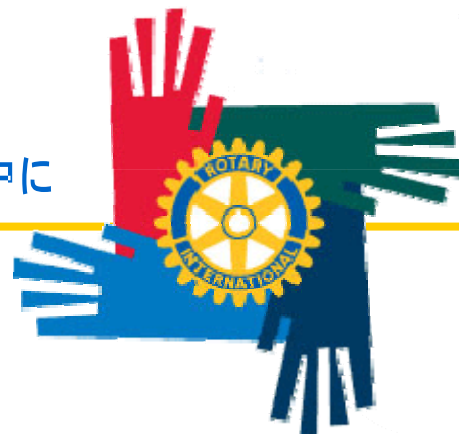
2640 地区ガバナー
村上 有司
(田辺RC)

NO.1 7

ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁23 サイバーリンクスN-4ビル2F
TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643
E-mail: info@rid2640g.org
URL: <http://www.rid2640g.org/murakami/>



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2640地区

ガバナー 村上有司

田辺 RC (弁護士)

- クラブ会長
- ガバナー補佐
- 米山メジャードナー
- 財団大口寄付者



ごあいさつ

- 1、新しい年度の幕開けです。2007年7月からガバナーノミニ、2008年7月からはガバナーエレクトとして、多くの機会に多くの皆様方の御意見を聞きながら、ガバナー年度の準備に全力を傾注してきました。これからは出来上がった海図に従い、皆様方の御協力を得て船を進めて行くのですが、決して波静かな旅路ばかりとは思っていません。輝かしい年度にするため、皆様方の御支援をお願い申し上げます。
- 2、ジョン・ケニーRI会長は、次年度テーマを「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS (ロータリーの未来は、あなたの手の



中に)」と発表しました。「ロータリーはクラブが中心で、全てはクラブから始まる」と述べ、「未来のロータリークラブをつくり出すのは、ロータリー本部のあるエバンストンではなく、各ロータリークラブである」と世界中のロータリアンに語りかけられました。「最近、ロータリーの動きが少しおかしい」と指摘する人々が多い中で、この発言は、ロータリー本流を指向する人々にとって大歓迎されるものでした。世界中には、32,000を越えるクラブがあります。あなた方のクラブ

はその中の一つですが、決して1/32,000ではありません。あなた方のクラブは32,000/32,000、すなわち1なのです。どのクラブもかけがえのない一つの存在であり、一つでも欠くことの出来ない存在なのです。

ロータリー世界では、各クラブが最高・最終の権限者であるから、誰からの支配も受けないのです。これを逆説的にいえば、各クラブは、自主的・自発的に活性化し、ロータリー組織を支える義務を負っているのです。各クラブが、他からの支配や外部からの光を嫌うのなら、自らの内部で光を起しその存在を指し示すことが必要です。ケニーRI会長が「クラブは自主性をもって、良くならなければならない」と注意を喚起していることを忘却してはならないのです。

- 3、各クラブが、活力をもって生き生きと行動するためには、常に会員間で話し合っ、日々変化し発展する努力が必要です。各クラブは、クラブが誕生したあの時の生き生きとしたみずみずしさをもう一度思い出し、その時の活力を取り戻す必要があります。各会員は、入会時の興奮と感動をもう一度思い出し、その時のやる気を取り戻して下さい。もちろん、時代も進み人の考え方も変化しつつあり、懐古趣味に浸り古いことだけを繰り返せばよい訳ではありません。時代にマッチした、新鮮な施策やアイデア

を打ち出す必要があります。「変革（チェンジ）と進歩」は、組織を維持していく上で不可欠なことです。ポール・ハリスは、「昨日より今日、今日より明日、変わらなければならない」と語っています。

次年度地区の方針を、「歴史に学び変革と進歩を」としたのは、このような考え方からです。ジョン・ケニー会長のテーマを実現するために、ロータリーの歴史をもう一度振り返り、ロータリーのプリンシプル（原理・原則）を確認すると同時に、その上立って“変革”と勇気をもって断行し、明日に向かって“前進する”ことが大切です。

4、私は、色々の機会に「たかがロータリー、されどロータリー」と言う言葉を引用して話しをします。

ロータリーには、国家や行政機関のような強い権力はありません。又ロータリーは、高等教育をする学校でも、高級技術を教える職業訓練所でも、生死の極限での修養を求める宗教道場でもありません。ロータリークラブは、「社会が一般的に認める有益な事業又は専門職の人々」と「社会活動家」によって構成される団体です（国際ロータリー定款第5条）。その大半は現役の経済活動家ですが、それらの人々は自らの職業のため日夜努力を続ける多忙な人々です。けっして、経済的にも時間的にも余裕が多くある訳ではありません。余り高度な理屈や、聖人君子に求められる倫理を要求し、そのために再三に亘る会議や研修会を開いても有意義とは思われません。自らの身の丈を心得、それに合った運動を進めることが大切だと思っています。今年度のロータリー活動は、判りやすく、かつ実行可能な目線での活動を進められたらと願っています。

ロータリアンは、強制されてロータリークラブに入会したのではありませんし、又何かの見返りを期待してロータリー活動をしている訳でもありません。只々「少しでも世の中が平和になり、社会全体が幸せになれば」とのささやかな気持ちで、同じ船に乗っている同志なのです。その程度や考えには多少の差はありますが、奉仕の心をもってロータリーという船に乗り合わせた縁者です。友情の輪は、金で手に入れることは出来ません。しかし、心豊かな友達と語り合い、自らの職業研鑽を進め、人間向上を重ねられたら何と楽しいことではないでしょうか。そして、その延長線上で、“奉仕”が出来れば何と幸せなことではないでしょうか。ロータリアンの多くは、そのことを知っているからこそ、多忙な中から寸暇を割いて活動を続けているのです。今年度地区キーワードを、「縁づくり」とした所以です。この「縁」を一層大きく、強いものにするによって、特別な権力や財力もない集団が、予想も出来ないようなことをする可能性が生まれてきます。ロータリーの神髄です。

5、世界規模の経済不況の荒波は、地域社会はもちろんですが、会員の上にも重くのしかかっていますが、必死に耐え抜いていただきたいと思います。しかし、生き抜くために、「邪悪な選択をしたい」との誘惑にかられることがあるかもしれませんが、それは邪道であることを自覚して下さい。最近、ロータリアンが関係する破廉恥な事件が、活字や電波で流れるのを見て悲しくなります。もし不幸にして、あなたが浮沈の岐路に立たされる様なことがあっても、その時にこそロータリー精神を思い出していただきたいと思います。職業倫理や法律に反する方法でその場逃れをしたとしても、後日それが発覚した時には、人格まで否定されることになるからです。

又、あなたの近くに迷える仲間を発見した時には、友愛の情をもって、真摯な相談にのってあげて下さい。それこそが、ロータリーが最も大切にする“職業奉仕”であり、ロータリアンの“互恵精神”だと思っております。

6、活動方針につき、要点だけ触れておきます。

(A) クラブ奉仕部門

イ 会員増強

R I 方針では、純増各クラブ 1 名となっていますが、当地区は、純増各クラブ 2 名を目標として努力いただきたい。

又、退会防止にも努力いただきたい (R I 方針では「クラブレベルで、少なくとも 80% の会員維持率」)。

会員数 10 人を割るクラブでは、会員増加の障害事由を検討いただきたい。

ロ 広報

外部広報と同時に、内部広報にも力を入れたい。

目新しい事業の都度、随時マスコミ (新聞・テレビ・ラジオ等) に連絡を入れ、外部広報に努められたい。移動写真展を計画し、R I 広報事業として申請予定。内部広報充実のため、月信の改革・改善を次の通り行う。

(a) A3 紙を中折り両面刷り (4 頁) とし、会員一人一人に直接配布する。

(b) これとは別に、“ウェブ月信”を作成する。

(c) 月信編集委員会をつくり、内容充実をはかる。

ハ 人材育成

(a) クラブ会長ノミネーが出揃った時点 (2010 年 2 月頃) で、研修会を開く。

(b) R L I 等人材育成については、クラブ奉仕部門で検討いただきたい。

ニ 例会の充実

(a) ロータリーの醍醐味は例会にある。例会の充実なくしてクラブの発展はない。

(b) 各クラブで、マンネリ化した例会の改革を検討いただきたい。例えば、2 ~ 3 ヶ月に 1 度位、近隣クラブで合同例会を開く。その際、家族会とするのもよいし、卓話者に有為な人を選び、公開例会とするのもよい。

(c) 地区に、スピーカーバンクをつくる。

(B) 職業奉仕部門

イ 100 年に 1 度といわれる不況下、各ロータリアンの事業も大変なことと思う。職業倫理の研鑽に一層力を入れ、少なくとも社会から批難を受けない企業となるために努力して下さい。

ロ ラジエンドラ・サブ一元 R I 会長は、国際協議会で、「行動を伴わない知識には何の意味もない」と指摘された。ロータリーの初期、“互惠”取引が重要な目標になっていたことを思い出し、その精神で助け合い運動が出来ないか。

(C) 社会奉仕部門

イ 各クラブで独自に行っている立派な奉仕活動は、継続して実行されたい。これら事業内容をまとめて一覧表にし、会長賞にふるって参加いただきたい。

ロ “地震”をテーマにした奉仕活動を、地区を挙げて取り上げたい。

(D) 新世代部門

イ 青少年・ライラ

田辺市元島館、2010 年 3 月 20 日 (土) ~ 22 日 (月) 実施。

ロ ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ共に、会員増加・維持に努めていただきたい。

(E) 国際奉仕部門

- イ W C S
2010年3月頃に、R I 第3400地区(インドネシア)との間で実施予定。
- ロ 青少年交換
長期10名の派遣学生に対し、オリエンテーションを実施して、無事出発出来るよう準備中である。又、受入れ学生も長期10名程度を予定している。短期は募集中であるが、10名位の予定。
- ハ オン・ツウ・モントリオール
最低150人参加を目指している。現地でジャパンナイトを予定している。
- (F) ロータリー財団部門
 - イ ロータリー財団寄付目標
 - (a) 年次・恒久プログラム基金の寄付目標年額1人当り200ドル。
 - (b) “あなたも100ドル”運動を奨励していただきたい。
 - ロ DVD等を利用して、2012年7月から始まる“未来の夢計画”の周知徹底をはかる。
 - ハ 財団奨学生
 - (a) 2009～2010年度奨学生のオリエンテーション及び派遣に努める。
 - (b) 2010～2011年度奨学生の募集・採用。
 - ニ G S E
R I 第7150地区(北米)との交換が決定し、団長と5人の団員に対するオリエンテーション(全員女性)。派遣は2009年9月頃、受入れは2010年3月の予定である。
 - ホ 財団学友
 - (a) 青少年、財団学友、ローターアクト・インターアクト各委員会と協力して、卒業生のリストアップをお願いしたい。
 - (b) その上で、大同懇親会を開きたい。
 - (c) 新クラブ形成に向って。
- (G) 米山奨学部門
 - イ 寄付金(普通寄付・特別寄付)目標 1人当り2万円
 - ロ 米山奨学金制度について、DVDを利用して広報に努める。又、地区大会・地区協議会で、奨学生に発表の機会を与える(ホームカミング制度を利用したい)。
- (H) 情報・規定部門
 - イ ガバナー補佐内規の作成。
 - ロ 地区委員会構成の見なおし。
- (I) クラブ拡大
逆風の中であるが、1～3クラブの拡大を検討中。各クラブの御協力をお願いする。
- (J) 公式訪問
 - イ 8月26日から12月17日迄の間で行う。
 - ロ 原則として、各クラブを個別に訪問するつもりであるが、クラブの希望で合同でも結構。
 - ハ ガバナー補佐を中心に、公式訪問2週間前迄にクラブ協議会を開く。
 - ニ 会長・幹事との懇談会は、例会前1時間位を予定している。
 - ホ 例会終了後、30～60分間クラブの希望で座談会を開く。
- (K) I M

- イ 2009年12月末迄に開催をお願いしたい（已む得ない場合は、2010年1月中）。
- ロ テーマは“縁づくり”とするが、各IMで独自に考えてくれてよい。
- ハ 事前会議は、開催していただきたい。
但し、対応委員会・時間等は各IMで決定されたい。
- ニ 本会議の方法についても、各IMで決定してくれてよい（例えば、パネルディスカッション・講演会・活動状況の報告等々）。
- ホ 途中退場者防止対策については、研究いただきたい。
- ヘ 懇親会の開催については、全て各IMにおまかせする。

(L) 地区大会

- イ 開催日は、2010年4月17日（土）・4月18日（日）
- ロ 開催場所
4月17日は南紀白浜温泉“コガノイベイホテル”
4月18日は田辺市“紀南文化会館”
- ハ ゴルフ大会
4月5日（月）白浜ゴルフ倶楽部

国際協議会



第2640地区村上ガバナー夫妻

RI ジョン・ケニー会長夫妻

RI 会長メッセージ

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているのとたえることができます

2009-10 年度 国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって末永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているのとたえることができます。

この鎖が解けることなく永続していくためには、個々の輪が強くなってはなりません。ロータリーの未来への鎖を堅固なものに鍛え上げることは、私の責務であり、皆さんの責務です。今年より来年、また、来年より再来年、さらにロータリーを強くしていくことは、私たちの責務です。また、ロータリーが、明日、次の新たなチャレンジに取りかかれるよう、今日、ポリオのない世界を築くという約束を果たすことも、私たちの責務なのです。

マハトマ・ガンジーは、かつてこのように言いました。「未来は、私たちが現在成すことによって決まる」第二世紀においてもロータリーの発展を望むのであれば、現状に甘んじているだけでは十分とは言えません。これからの長い道程に備えて地図が必要となりますが、私たちはその地図をすでに携えています。国際ロータリーは確かな未来を築くため、世界中のロータリアンから協力を得て、7つの優先項目を掲げた長期計画を立てました。今、この計画を実行に移すときがやってきたのです。

「ポリオを撲滅する」が、私たちの最優先事項です。募金のチャレンジを通じて、この重要な仕事を完遂し、世界に対して約束を果たすために、私たちはリソースの提供というかたちで力になることができます。

「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」は、ロータリーが新会員を引きつけ、他団体からの協力を得ることにつながります。ポリオ・プラスでロータリーは世界の表舞台で活躍するようになりました。今後は、地元と世界における奉仕活動をメディアと地域社会に広め、国際的な地位を築いていくときがやってきたのです。

「他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る」は、ロータリーの使命の核心に触れるものです。四大奉仕部門に沿って時間と才能と熱意をこれまでより少しだけ多く捧げるなら、すべてのロータリアンがこの目標に向けて貢献できます。2009-10 年度も、近年、クラブが取り組み続けている重要な問題、すなわち、水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけていきます。

「質的にも量的にも会員組織を世界的に拡大する」は、重要な優先事項です。これは、ロータリーが達成すべき目標のすべてが会員をよりどころとしているからです。資格ある新会員をもたらすことは、私たち一人ひとりの責務です。しかしながら、この責務を果たしているロータリアンはわずかです。ほかの人々にクラブへの入会を勧め、会員を増やすことができるのはロータリアンしかいないのです。



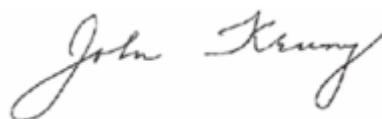
「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーとの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。「国際ロータリー内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」は、ロータリーの未来にとって欠かせない要素です。私たち一人ひとりが、なんらかのかたちで指導的役割を担うべきです。クラブレベルで委員会の委員長や奉仕プロジェクトの委員を務めたり、地区レベル、国際レベルで活躍するなど、さまざまな役割があります。すべてのロータリアンは職業において指導的な立場にある人々ですから、ロータリーにおいてもこの指導力を発揮すべきです。「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」は、クラブ、地区、国際レベルで毎年指導者が交代する際に、引継ぎが効果的に行えるようにすることが目的です。

この長期計画は RI 理事会が承認したものではありませんが、これを実施するのは皆さんです。RI 会長が、皆さんのクラブに入会するようにと新しい会員を誘うことはできません。また、RI 理事会が、ポリオ撲滅の支援に向けて、皆さんの地域で募金活動を企画したり実施したりすることもできません。同様にシニア・リーダーが、皆さんの職場でロータリーの倫理規範を実践することもかないません。すべては、皆さん自身が実行しなければならないのです。ロータリーの未来はあなたの手の手の中にあります。

一人ひとりのロータリアンに自らの責務を胸に刻んでいただくために、この真実を 2009-10 年度のテーマとして選びました。かのウィンストン・チャーチル卿は、「偉大さの代償は責任だ」と述べています。ロータリーは偉大な組織です。私たち一人ひとりが課題に立ち向かい、未来に対する責任を果たすなら、ロータリーはさらに素晴らしい組織へと発展する可能性を秘めているのです。

ロータリーにおいては、「ロータリアン」という肩書きの下、各会員に仕事が与えられています。私たちの任務は、地元と国際社会において必要とされる奉仕を提供すること、そして、事業と専門職務に携わるリーダーを新会員として誘い、地域社会で好ましいイメージを築きながら、クラブの器を広げていくことです。ロータリアンとしての私たちの職務には、職場と私生活において倫理的行動の規範を示し、クラブと地域社会においてリーダーの役割を務め、ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅を全面的に支援することも含まれています。

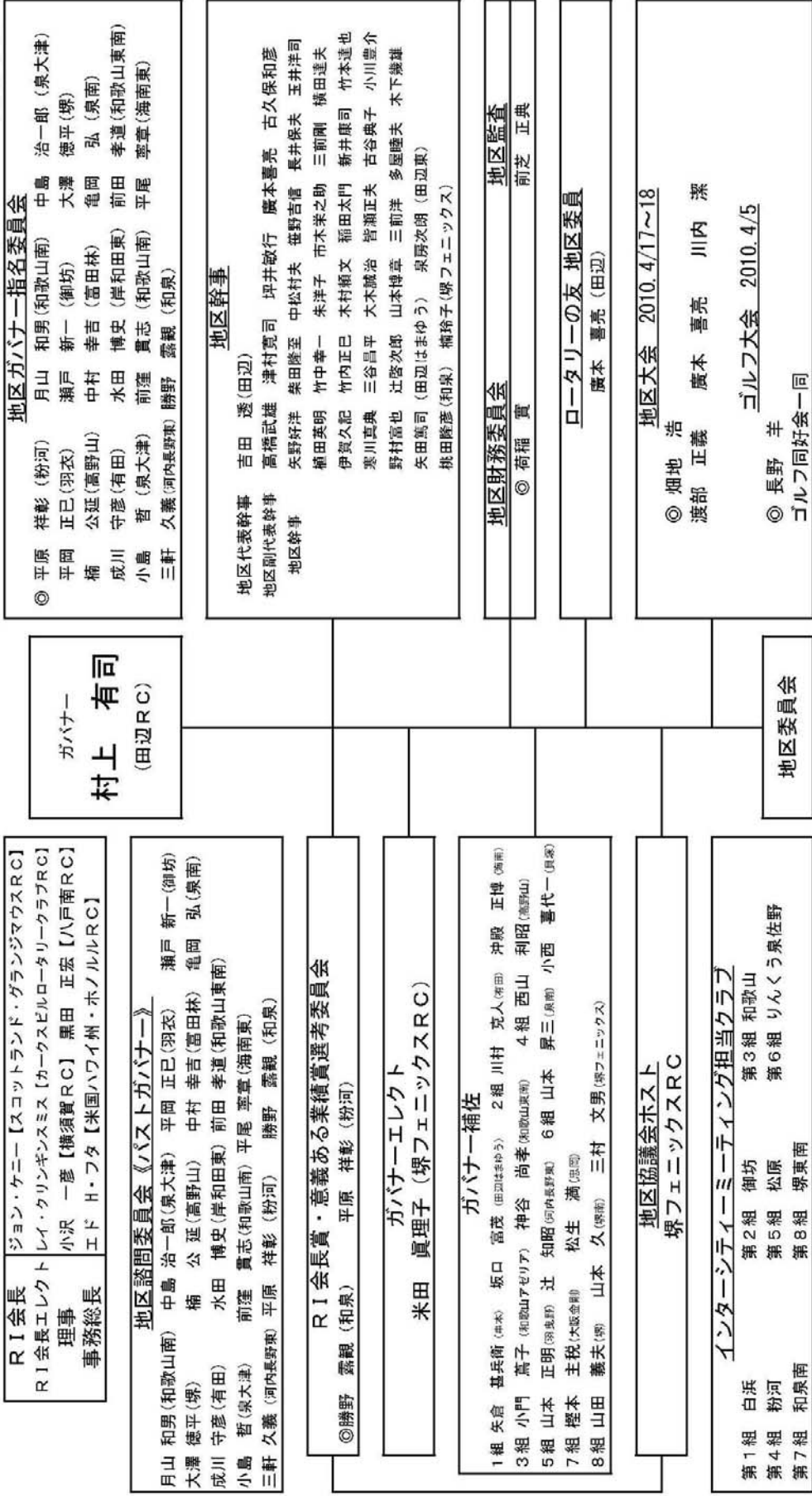
ロータリアンという仕事には、計り知れない恩典があります。私たちは、かけがいのない親睦を享受し、他者のために尽くすという個人的な生きがいを得ることができます。皆さんがロータリーとその力を信じるのであれば、今こそ立ち上がり、全身全霊でロータリアンとしての仕事に全力投球するときです。ロータリーの未来はあなたの手の手の中にあるのです。



ジョン・ケニー
(スコットランド、グランジマウス)
2009-10 年度 国際ロータリー会長

2009-10年度 国際ロータリー第2640地区 組織図

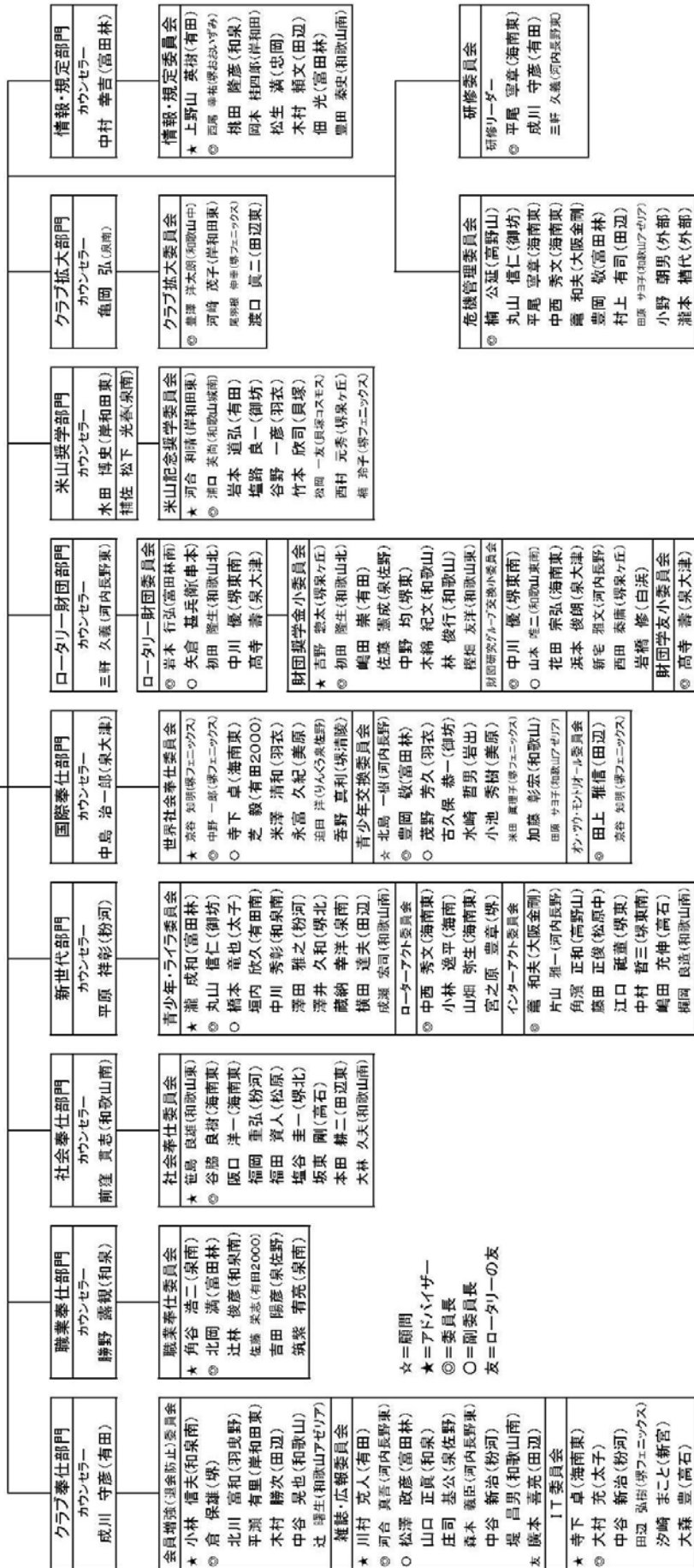
2009. 5. 12



2009～2010年度国際口一タリ一 第2640地区委員会組織表

2009. 6. 8現在

地区委員会



- ◎ 岩本 行弘(富田林南)
- ◎ 初田 隆生(和歌山北)
- ◎ 岩本 行弘(富田林南)
- ◎ 初田 隆生(和歌山北)

ガバナー補佐一覧表

IM組	氏名	所属クラブ	担当クラブ
1組	矢倉 甚兵衛	串本	串本・那智勝浦・新宮
	坂口 富茂	田辺はまゆう	白浜・田辺・田辺はまゆう・田辺東
2組	川村 克人	有田	有田・有田南・御坊・御坊南・海南東
	沖殿 正博	海南	有田2000・御坊東・海南・海南西
3組	小門 薫子	和歌山アゼリア	和歌山東・和歌山城南・和歌山北・和歌山南
	神谷 尚孝	和歌山東南	和歌山・和歌山アゼリア・和歌山中・和歌山西・和歌山東南
4組	西山 利昭	高野山	橋本・橋本紀ノ川・岩出・粉河・高野山
5組	山本 正明	羽曳野	藤井寺しゅら・羽曳野・松原・松原中・美原
	辻 知昭	河内長野東	河内長野・河内長野東・大阪狭山・太子・富田林・富田林南
6組	小西 喜代一	貝塚	岸和田・岸和田東・岸和田北・岸和田南・貝塚・貝塚コスモス
	山本 昇三	泉南	阪南・泉佐野・関西国際空港・りんくう泉佐野・泉南
7組	樫本 主税	大阪金剛	羽衣・忠岡・高石・高師浜
	松生 満	忠岡	和泉・和泉南・泉大津・大阪金剛
8組	山田 義夫	堺	堺・堺東・堺北・堺フェニックス
	山本 久	堺南	堺南・堺西・堺おおいずみ・堺泉北・堺東南
	三村 文男	堺フェニックス	堺北西南西・堺泉ヶ丘・堺中・堺清陵

クラブ会長・幹事一覧

クラブ名	会長名	幹事名	クラブ名	会長名	幹事名
有 田	橋 爪 正 芳	脇 村 重 徳	大阪狭山	丸 山 建 夫	奥 平 昇
有田南	塩 路 信 兼	中 善 隆	りんくう泉佐野	船 倉 之 生	八 田 眞 弓
有田2000	川 島 信 治	芝 毅	堺	福 井 隆 一 郎	神 山 紀 夫
藤井寺しゅら	安 野 満	久 松 靖 生	堺 東	稲 本 耕 一	野 村 昌 昭
御 坊	塩 路 信 人	玉 置 昭 悟	堺北西南西	西 野 豊	田原春 剛 一
御坊東	玉 置 幸 史	栗 林 久 一	堺泉ヶ丘	阪 井 祥 博	永 田 泰
御坊南	柚 瀬 清	田 淵 光 彦	堺 北	河 井 要 祐	塩 谷 圭 一
羽 曳 野	宮 崎 勝	畑 田 美 雄	堺 南	浅 香 收	南 延 弘
羽 衣	高 岩 弘 至	山 條 康 次	堺 中	竹 内 伸 雄	本 郷 博 一
阪 南	津 田 麗 子	若 野 泰 三	堺 西	八 木 重 喜	北 山 茂
橋 本	喜 多 啓 允	吉 田 裕	堺おおいずみ	前 内 禧 宏	植 木 重 文
橋本紀ノ川	福 井 康 雄	山 崎 隆 充	堺フェニックス	今 野 華	尾羽根 伸 幸
岩 出	内 山 昭	明 渡 眞 幸	堺 清 陵	水 内 重 二	吞 野 文 夫
和 泉	杉 田 憲 貞	杉 本 昌 史	堺 泉 北	山 本 能 嗣	中 村 俊 二
和 泉 南	石 田 安 宏	日 笠 忠 一	堺 東 南	中 川 優	山 本 保
泉 大 津	高 寺 壽	原 正 人	泉 南	片 木 哲 男	戎 野 博 太 郎
泉 佐 野	南 慎 一	赤 井 聡 宏	新 宮	汐 崎 ま こと	西 博 之
海 南	丸 井 弘 亘	岡 本 慶 一	白 浜	中 村 寛	久 保 木 弘
海 南 東	花 畑 重 靖	寺 下 卓	忠 岡	田 邊 元 一	萬 野 俊 史
海 南 西	前 窪 進 一	堀 田 洋 一	太 子	萩 和 夫	川 端 健 夫
貝 塚	松 村 明 治	塩 谷 一 郎	高 石	池 尾 平 治	永 谷 孝 寿
貝塚コスモス	守 行 善 五 郎	秦 信 寛	高 師 浜	合 田 房 雄	小 林 英 樹
関西国際空港	山 下 浩 三	木 村 祐 士	田 辺	堅 田 尚 生	新 藤 整 市
河内長野	土 井 昭	濱 田 郁 子	田辺はまゆう	中 野 博 行	光 吉 直 也
河内長野東	阿 部 知 己	柿 花 利 英	田 辺 東	沖 史 郎	谷 中 順 次 郎
岸 和 田	岡 本 桂 四 郎	櫻 井 新 嗣	富 田 林	辻 隆 司	田 中 正 章
岸和田東	雪 本 孝 治	安 井 八 州 夫	富 田 林 南	古 川 元 一	森 井 義 弘
岸和田北	井 上 弘	内 芝 秀 樹	和 歌 山	脇 坂 三 蔵	宮 井 俊 明
岸和田南	西 村 博 治	笹 倉 太 司	和歌山アゼリア	山 田 茂	中 村 善 夫
粉 河	谷 口 寿 英	中 谷 新 治	和歌山東	谷 口 文 利	野 上 泰 造
高 野 山	近 藤 本 淳	西 本 憲 茂	和歌山城南	井 手 良 明	佐 藤 正 光
串 本	矢 倉 甚 兵 衛	堀 本 京 子	和歌山北	初 田 隆 生	青 木 保 誠
松 原	井 上 隆 彦	二 木 宰 之	和歌山南	瀧 本 幹 之	三 木 菊 夫
松原中	関 井 皓 司	竹 本 芳 司	和歌山中	井 関 良 夫	豊 田 耕 作
美 原	永 富 久 紀	小 池 秀 樹	和歌山西	岩 橋 本 博	中 筋 正 浩
那智勝浦	山 田 善 清	森 岡 一 朗	和歌山東南	竹 中 昭 美	中 岡 隆 文
大阪金剛	宮 武 勲	南 啓 二			

新入会員紹介

5 月



みの よしまさ
美濃 義真

所属クラブ：和歌山RC
職業分類：損害保険
生年月日：1957年7月19日



いのうえ ひろし
井上 博司

所属クラブ：御坊RC
職業分類：生命保険
生年月日：1967年4月22日



よつ い そよ こ
四井 素代子

所属クラブ：堺RC
職業分類：児童教育
生年月日：1932年10月25日



おくむら けんじ
奥村 建二

所属クラブ：新宮RC
職業分類：商工会議所
生年月日：1958年1月3日



訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

5 月 物故会員



吉田 元亮様 (堺東RC)

2009年5月7日逝去
在籍期間：31年2ヶ月
職業分類：運道具販売
ポールハリスフェロー：
米山功労者：4回
生年月日：1937年1月21日

第1回「ロータリーの友」地区だより(7月号)

2009-2010 年度「ロータリーの友」地区だよりを担当させていただきます廣本です。クラブ雑誌・広報委員会の皆様、会員各位の皆様一年間よろしくお願い申し上げます。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

○ロータリーの友委員会委員長 上野孝氏（横浜RC）

ロータリーの友委員会の方針及び改革の方向を述べています。……………1 頁

○RI 会長メッセージ・2009-2010 年度RI テーマ

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」について説明しています。……………5 頁

○RI 会長 ジョン・ケニー氏の紹介

スコットランド初のRI 会長ケニー氏の人となりを紹介しています。……………8 頁

○2009-2010 年度RI 理事会メンバー紹介

普段馴染みの薄いRI 理事が紹介されています。

「決議 23-34」廃棄で話題になったRI 理事会の新メンバーです。……………18 頁

○ガバナーの横顔

第2640地区 村上有司ガバナー ………………20 頁

“実践躬行の人” 田辺RC 吉田透地区代表幹事 ………………32 頁

○エバンストン便り・掲示板 ………………47・48 頁

RI のゾーン編成が変わった事が述べられています。

2640地区も含まれる第3ゾーンは、九州・四国を含み大変広くなりました。友誌掲載の地区順も変更されました。

☆ 縦組

○環境問題に挑戦する日本の技術と文化 ………………②頁

月尾嘉男氏の講演ですが、地球環境の問題として資源の問題・水の問題・温暖化の問題からこの深刻さが述べられています。

○俳壇

「桜咲く杜氏は帰り仕度かな」 和歌山北 岩内美登理会員

「夏野菜色々植ゑて畑楽し」 大阪・堺東 竹山時和会員

○柳壇

「歯車を見て一生を顧みる」 大阪・泉佐野 赤井聡宏会員

「好々爺グラス片手の遺影です」 大阪・堺 大澤徳平会員

「桜咲く心ときめく吾が身でも」 大阪・堺 八木桔梗会員

「学徒兵と呼ばれた頃がなつかしい」 大阪・堺フェニックス 田幡茂美会員

「無沙汰詫び近況話し洗う墓碑」 和歌山・新宮 塩崎公治会員

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮（田辺RC）

ハイライトよねやま 112号

(財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



今月のトピックス

2009年6月12日発行

1. 寄付金速報 — プラス幅がさらに減少 —
5月までの寄付金は、前年同期と比べて3.72%増、約5千万円の増加となりました。普通寄付金が1.12%減、特別寄付金が6.01%増ですが、先月に引き続き、前年同期比のプラス幅がさらに1,500万円減少しました。
2. 米山奨学生の博士号取得状況
今年も卒業式を終えた学友から、博士の学位を取得したとの報告が続々と届いています。2008学年度(2008年4月～2009年3月)に博士号を取得した学友は56人、累計では3,123人です(6月9日現在)。博士号取得者には、米山記念奨学会からお祝いの腕時計をお贈りします。世話クラブ・カウンセラーの皆様からも是非ご報告いただきますようお願い申し上げます。
3. 理事会・評議員会開催報告 —2009年度事業計画・予算決定!—
2009年6月1日に2008年度第2回評議員会、翌2日に2008年度第2回理事会が、それぞれメルパルク東京にて開催されました。
4. 毎月1万円寄付で累計40万円の功労者表彰 — 田 鎬鎮さん —
横浜鶴峰RC(第2590地区)の例会で5月30日、米山学友の田 鎬鎮(ジョンホジン)さん(韓国/1992-94年/横浜鶴峰RC)の表彰式が行われました。
5. 新しいDVDのご案内
米山記念奨学会では新しいDVDを7月31日に発行します。



「ハイライトよねやま」は、毎月1回発行しているロータリー米山記念奨学会のニュースレターです。

文庫通信 (262号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

- ◎ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』
菅生浩三 (D.2660) 2009 4P
- ◎「これからのロータリー」 渡辺好政 (D.2690) 2009 6P
- ◎「約束を守ろう！ポリオ撲滅」 岩渕 均 (D.2770) 2009 8P
- ◎1911年のロータリーの Toleration(寛容)と Philosophy(哲学)
坂本俊雄 (D.2750) 2009 1P
- ◎ロータリーの奉仕・Service をめぐる10年間の大議論 1923年の23-34号決議
坂本俊雄 (D.2750) 2009 2P
- ◎貧困への挑戦 識字プロジェクト 竹腰兼壽 (D.2630) 2009 1P
- ◎ロータリーにおける社会奉仕について 勝野露観 (D.2640) 2009 10P
- ◎ロータリーの職業倫理訓逐条解説(10)~(12) 青木伸翁 (D.2770) 2009 3P

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日



『友』インターネット速報は、毎週火曜日に、DICO（地区インターネットコミュニケーションズオフィサー）とガバナー事務所にEメールでお送りしています。各クラブへは、地区の担当者からお送りしています。

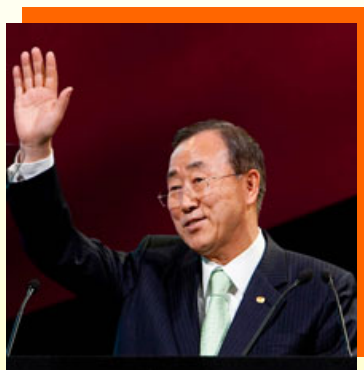
Eメールやウェブサイトで情報をご覧になることができない方のために、A4判1ページで印刷できる情報量を目安にしています。プリントアウトをして、クラブの例会の折に回覧してください。

国連事務総長の講演で第100回国際大会が開幕

6月21日、イギリス・バーミンガムでの2009年国際ロータリー（R I）国際大会の開会本会議で潘基文（パン・ギムン）国連事務総長が特別講演を行い、ロータリアンの活動をたたえました。

潘氏は「ロータリーは世界ポリオ撲滅活動に全身全霊をささげている」と称賛。「『ポリオのない世界』とは、ロータリーが抱く明確なビジョンです。今こそ、撲滅を完遂するときです。世界中の政府の協力が必要とされています。私たちが手を合わせれば、次世代の子どもたちにポリオのない世界をもたらすことができるのです」と述べ、国連の協力を約束しました。

また、「ロータリーへの感謝は事務総長となって以来、さらに深まりました。国連は、ロータリーが今後も活動を着実に続けていくであろうと、信頼を寄せています。グローバルな現在における私たちの強みは、協力関係です。全協力者が手を取り合って取り組んでいかなければならないのです」とし、気候変動、飢餓、資源の減少などの世界的な問題への支援も求めました。



7月の行事予定表

1日	(水)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
2日	(木)		
3日	(金)		
4日	(土)	2009～10年度長期派遣学生への第5回最終オリエンテーション 2008～09年度長期受入学生への修了証書授与式およびホストファミリーへの感謝状授与式 2009～10年度年度短期交換学生送迎会	テクスピア大阪
5日	(日)		
6日	(月)		
7日	(火)		
8日	(水)		
9日	(木)		
10日	(金)		
11日	(土)	第1回諮問委員会	ホテルハーヴェスト南紀田辺
12日	(日)	クラブ会長会議	青少年研修センター
13日	(月)		
14日	(火)		
15日	(水)		
16日	(木)		
17日	(金)		
18日	(土)	'クラブ雑誌・広報、IT委員長会議	青少年研修センター
19日	(日)		
20日	(月)		
21日	(火)		
22日	(水)		
23日	(木)		
24日	(金)		
25日	(土)	クラブ会員増強(退会防止)・クラブ拡大委員長会議	青少年研修センター
26日	(日)	インターアクト年次大会(ホスト:羽衣学園・清風南海)	羽衣学園高校
27日	(月)		
28日	(火)		
29日	(水)		
30日	(木)		
31日	(金)		



国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁23

サイバーリンクスN-4ビル2F

T E L (073) 428-2640

F A X (073) 428-2643

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤務時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は休み)